

調査の概要

- **目的：**

入学を予定している学生の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的とし、次の4点から構成される。

1. 新入生の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を、入学時から行うための情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定し、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭・進路などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

- **調査時期：**2019年3月

- **調査方法：**

質問紙調査票の郵送による送付・返送である。一般入試合格者および保護者に対しては、他の入学手続関係書類に調査票および調査票返送用封筒を同封し、他の書類とともに回答の返送を依頼した。その他の選考による合格者および保護者には、別途、調査票および調査返送用封筒を送付し、返送を求めた。

- **分析対象：**

回答をいただいたが、調査データの使用許可を得ることができなかった回答者を分析対象者から除いた。よって対象者は、平成31年度学部入学者419名、保護者410名である。但し、無回答・非該当の場合など、調査項目によって、サンプル数に多少の違いがある。各章を参照のこと。調査別の詳細は以下の通りである。

1. 「新入生を対象とした調査（新入生調査）」

平成31年度学部入学者485名。有効回答数419名（入学者のうち86.4%）。

学部別内訳	文教育学部	185名(入学者のうち85.6%)
	理学部	112名(同84.8%)
	生活科学部	120名(同87.6%)
	学部不明	2名

2. 「新入生の保護者を対象とした調査（新入生保護者調査）」

平成31年度学部入学生の保護者485名。有効回答数410名（入学者のうち84.5%）。

- **実施主体：**国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

- **個人情報について：**

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努め、学内の倫理審査も受けている。（詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/about/individual.html> 参照）

調査票は、大学で付けたID番号で管理をし、回答者の氏名や住所などは記載せずに回答・返送を求めた。

参考文献

ベネッセ教育研究開発センター(2009)

「第1回 大学生の学習・生活実態調査報告書[2008年]」

<https://berd.benesse.jp/koutou/research/detail1.php?id=3161>

日本学生支援機構 (2018)

「平成28年度 学生生活調査」

http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/12.html

お茶の水女子大学 (2019)

「平成30 新入生の生活に関する調査報告書」

お茶の水女子大学 (2017)

「平成29年度 新入生の生活に関する調査報告書」

総務省統計局 (2011)

『平成22年国勢調査』

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター (2008)

「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」

http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008_01.pdf

全国大学生生活協同組合連合会 (2019)

「第54回 学生生活実態調査の概要報告」

<http://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>